

## 12 大鹿桜 (西峯)

樹齢1100年といわれ、高さ14mを計ります。会津五桜の一つで、八重小菊咲きのサトザクラですが、花の色が白色から次第に鹿の毛色に変化することから、この名がつけられました。

社伝では村上天皇の天曆年中(947~957)勅使参拝のとき京都から持ってきて植えたたとあり、現在のものはその子孫です。

福島県緑の文化財登録第1号

(町指定天然記念物)



## 13 鳥居杉 (西峯)

延喜式内社磐椅神社の拝殿の前に鳥居のように並んであるので、こう呼ばれていましたが、昭和六十一年の台風によって左側の杉は倒壊してしまいました。また現在ある右側の杉は幹が三本に別れ、そこに桜が生えていますが、この桜は縁結びの桜といわれています。高さ36m、推定樹齢800年を誇る大木です。

福島県緑の文化財登録第341号

(町指定天然記念物)



## 14 白津からかさ松 (八幡・高原)

典型的な傘松の樹形で、樹高23m、幹周3.8mを計ります。推定樹齢450年で、根元には三宝荒神を祀った石の小祠があり、八手山城主三浦経連の重臣の邸内にあった木と伝えられています。

福島県緑の文化財登録第345号

(町指定天然記念物)



## 15 大原観音の松 (若宮・大原)

観音堂の前にあり、樹高29m、幹周4.2m、推定樹齢300年の巨木です。この木は、元禄年間(1688~1704)に会津藩と二本松藩で、硫黄採掘と温泉の利権をめぐる境界の争いを起こした時、勝訴したお礼に植えられたものだといわれます。

福島県緑の文化財登録第342号

(町指定天然記念物)

